

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

DATA in 九州

今月の注目データ

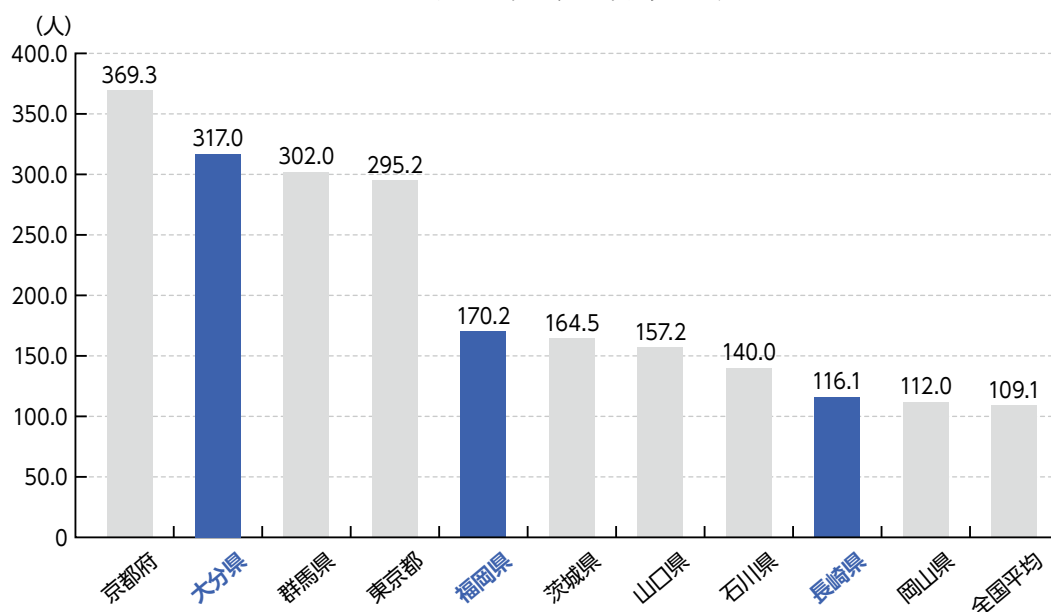
人口10万人当たりの留学生数

少子化や、学生の都市部への集中化に悩む地方の高等教育機関にとって、留学生の獲得が学校経営の要になっていきます。そこで都道府県別に、人口10万人当たりの高等教育機関（大学院、学部、短大、高専）における留学生数を見てみると、大分県が全国第2位（317.0人）、福岡県が第5位（170.2人）、長崎県が第9位（116.1人）と全国平均（109.1人）を上回っています。

生徒数のほぼ半数を留学生が占める立命館アジア太平洋大学のある大分県では、「大分県海外戦略」に基づき、県内に居住する留学生に対し、卒業後も引き続き県内に定着してもらうための支援を行うとともに、留学生OB等のネットワークの強化を図っています。

欧米諸国では高等教育機関の留学生比率が日本より高いのが現状です。今後わが国の国際競争力を高めるためにも、留学生の人材育成はますます重要性が増すものと考えられます。

人口10万人当たりの留学生数



出所：独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）「留学生調査」、総務省統計局「人口推計（2018年10月1日現在）」を基に、FFGビジネスコンサルティング作成